

令和 7 年 9 月 宝塚市長定例記者会見

日 時 9 月 25 日(木) 14 時 00 分から 場 所 特別会議室

出席者（市） 市長、副市長、産業文化部観光文化振興担当次長、観光にぎわい課長、産業文化部総括担当及び産業振興担当次長、農の魅力創造課長、農の魅力創造課係長、社会教育部総括担当及び社会教育担当次長、スポーツ振興課長、スポーツ振興課係長、

出席者（ゲスト） 一般社団法人日本コーヒーフェスティバル実行委員会 担当者・出店者、宝塚山本ガーデン・クリエイティブ株式会社 担当者

出席者（記者クラブ） 朝日新聞社、神戸新聞社、読売新聞社

1 発表案件

(1) ジャパンコーヒーフェスティバル 2025 in 宝塚を開催！

（観光にぎわい課）

【質疑】

（記者）今回で 4 回目ということですが、過去 3 回のテーマと開催時期をそれぞれ教えてください。

（ゲスト）1 回目は 2022 年に「七色いんこ」をテーマに、2 回目は翌年「ブラック・ジャック」、3 回目は昨年「音楽をテーマにした手塚作品」で、それぞれ開催しました。

（記者）今回のテーマは「火の鳥」ということですが、各店舗が具体的にどのような場面を選び、どのようなコーヒーを提供するのか、例があれば教えてください。

（ゲスト）当日、参加者には冊子をお渡しし、どの作品のどの場面をどのようなコーヒーに落とし込んだかをご覧ください。そのため、詳細は当日まで伏せさせていただきます。

（記者）冊子完成後、記者クラブにも事前に提供いただくことは可能でしょうか。

（ゲスト）はい。ただし、早くても前日になってしまいます。

（記者）ありがとうございます。お願いします。

（記者）バンコクからも出店されるとのことですが、具体的に教えてください。

（ゲスト）出店者は日本人の方ですが、バンコクで 3 店舗を展開している「Y' EST WORKS coffee roastery」という店舗です。普段はタイにいらっしゃいますが、日本に帰国するタイミングでジャパンコーヒーフェスティバルの開催時期が重なると

きには、多数のエントリーをいただいております、今回の宝塚市開催にも参加していただけることになりました。そのため「バンコクからの出店」としています。

（記者）前売券はどこで購入できますか。

（ゲスト）出店予定の各店舗と宝塚市国際観光協会で販売しています。出店一覧はジャパンコーヒーフェスティバルのホームページや Instagram に掲載予定です。

（記者）当日配布するパンフレットは前日に出来上がるということですが、例えば前売券を1週間前に購入した場合、受け取ることはできますか。

（ゲスト）前売券は当日、会場受付でコーヒーチケット3枚綴りと交換しますので、そのタイミングでのお渡しとなります。

（記者）記事にする場合、一般の方向けの問い合わせはどの番号を掲載したらよいでしょうか。

（ゲスト）チラシに記載の番号を掲載いただくようお願いします。こちらは広報担当につながります。

（担当）前売券に関する補足で、プレイベント「コーヒーふるまい会」でも前売券の販売を行います。

（記者）プレイベントの開催場所は中山寺のマーケットスクエアということですが、JR 中山寺駅の施設で間違いないですか。

（担当）はい。そのとおりです。

（ゲスト）先日、Instagram のライブで宝塚コーヒーフェスティバルのご案内を行いました。10月17日にも配信を予定しており、新しい情報をお知らせするとともに、可能であれば会場を歩きながらの配信も検討しています。

（次頁あり）

(2) あいあいパークで25周年イベントを開催します

(農の魅力創造課)

【質疑】

(記者) アフタヌーンティーセットは1日5食限定とのことですが、事前予約は可能ですか。

(ゲスト) はい。予約のみでの販売となっており、来店の3日前までに電話か店舗にて承っています。

(記者) かなり人気なのでしょうか。

(ゲスト) インターネットで紹介されて以来、連日電話での問い合わせが絶えない状況です。

(記者) 25周年と書かれたクッキーが添えられているのでしょうか。

(ゲスト) はい。「25th Anniversary」と書かれており、地元のパティシエの方に作っていただいています。

(記者) 25周年記念のアフタヌーンティーセットの写真をいただくことは可能でしょうか。

(担当) 広報課を通じて提供いたします。

(記者) バラのオークションについて、バラは花束での提供となるのでしょうか。

(ゲスト) 鉢植えでの提供となります。つるバラや行燈仕立て、スタンダード仕立てのバラ、大株のバラなど、さまざまな品種が出品されます。

(記者) だいたいいくらでしょうか。

(ゲスト) 高いものだと5,000円程度です。最近ではブランド品のバラは4,500円前後が一般的で、香りや花卉の多さ、切り花としての花持ちの良さなど、優れた品種が多くなっています。

(記者) 5,000円は落札価格でしょうか、市販価格でしょうか。

(ゲスト) 市販価格です。オークションでは2,500円～5,000円程度のバラを出品し、落札価格は通常の半額前後となることが多いです。万が一高額になりそうな場合は、購入者が損をしないように適切な金額で落札できるよう調整しますので、市販価格より高くなることはありません。

(記者) あいあいパークは2000年4月にオープンしたとのことですが、記念日が11月11日になっているのはどういう意味でしょうか。

（ゲスト）11月11日は設立の登記をした日で、オープンは2000年4月15日です。

（記者）あいあいマルシェは計3回開催されるとのことですが、それぞれ出店者は異なりますか。

（ゲスト）はい。そのとおりです。日によって出店数も変動します。例えば、宝塚植木まつり開催期間中の10月10日から13日までは最大で12店舗、少ない日では5店舗程度となります。

（次頁あり）

(3) 第 21 回宝塚ハーフマラソン大会

スペシャルゲストがハリー杉山さんに決定、メッセージ動画を公開

(スポーツ振興課)

【質疑】

(記者) ハリー杉山さんと宝塚市の接点は、テレビ番組「世界ふしぎ発見」で訪れたことがあるということでしょうか。

(担当) はい。ハリー杉山さんの SNS によりますと、2022 年頃に「日本に影響を与えたイギリス人」という特集で宝塚市を訪れ、ホテル若水に宿泊されたようです。

(記者) スペシャルゲストとして選定された決め手はなんだったのでしょうか。

(担当) ハリー杉山さんは全国各地のマラソン大会に出場されており、ゲストランナーとして参加されるほか、ファンサービスにも積極的に対応されていると伺っています。こうした経緯から、今回お声掛けをさせていただきました。

(記者) 大会名は「ハーフマラソン」となっていますが、実際の距離はハーフではなく 10 マイルで間違いないでしょうか。

(担当) はい、そのとおりです。

(記者) 以前はハーフの距離で実施されていたと思いますが、変更の理由は为什么呢。

(担当) 令和 5 年から武庫川河川敷の橋梁工事の影響で、ハーフの距離が確保できなくなったためです。そのため、第 19 回大会から名称は「ハーフマラソン」のままですが、実際には 10 マイルの距離で開催しています。

(記者) 今後、ハーフの距離に戻す予定はありますか。

(担当) 工事が終わり次第、元に戻したいと考えています。

(記者) 具体的にいつ頃になりそうか目途は立っていますか。

(担当) あと 2 年ほどは工事が続くと考えていますので、早くてもそれ以降になると思います。

(記者) 参加賞 T シャツは手塚プロダクションが制作しているのでしょうか。

(担当) 制作は当方で行っていますが、手塚プロダクションご協力のもと、左袖に鉄腕アトムイラストを使用させていただいています。

(記者) エンブレムは毎年異なるのでしょうか。

(担当) いえ、毎年同じものです。

（記者）今年のＴシャツは何色ですか。

（担当）ベースカラーは「赤」ですが、実際にはサーモンピンクやオレンジに近い色合いです。

（記者）現在の申し込み状況はいかがですか。

（担当）エントリーは 10 月末までですが、現時点では約 2,000 名にお申し込みいただいています。

（記者）各種目の定員を教えてください。

（担当）10 マイル 2,500 名、クォーター 1,000 名、ファミリー 3km が 1,500 名で、合計 5,000 名です。

（記者）ここ数年、参加者の数に変動はありますか。

（担当）コロナ禍後に再開した令和 5 年は少なめでしたが、昨年度は各種目合わせて 5,000 名を超え、ほぼ定員に達しました。

（記者）参加賞Ｔシャツは集客に影響していると思われますか。

（担当）若い世代は SNS をよく利用されるので、昨年度から情報発信を強化しました。スポーツ振興課でもアカウントを開設し、大会情報や協賛企業の紹介を頻繁に発信したことが、参加者数の増加につながったと考えています

（記者）昨年は宝塚市大使の武知海青さんが急遽参加されましたが、今年はいかがでしょう。

（担当）武知さんは歌手活動をされており、年末は音楽番組等との兼ね合いがあるため、今年の参加は難しい見込みです。

（記者）大会応援サポーターに配布する大会オリジナルコースターは、すでに完成していますか。

（担当）正式な発注は 10 月 31 日のエントリー締切後を予定しています。コルク調の素材に大会ロゴを入れたデザインを検討しています。

2 その他

【質疑】

（記者）前回の記者会見では、行財政改革の一環として見直しを進める主な事業として6つ挙げられましたが、現段階で市民の反応はいかがですか。

（市長）最も反応が大きいのは、高齢者バス・タクシー運賃助成事業だと思います。多くの方から「やめずに続けてほしい」というご意見をいただく一方で、「見直してもよいのでは」という声もあり、さまざまなご意見が寄せられています。

（記者）今後の6項目を含めた見直しの進め方のスケジュールを教えてください。

（市長）これから10月にかけては、各事業について関係団体にご説明し、必要に応じて修正の余地を残しながら対話を進める予定です。その上で、11月中旬に「市民と市長の対話ひろば」を各公民館で開催し、市民の皆さんにご説明します。場合によってはここでも修正の可能性があります。その後、12月議会に提案し、条例改正が必要な場合はそこで審議されます。来年度予算に関わる事項であれば、12月議会で方向性を決定し、1月から3月の予算編成に反映させるスケジュールです。

（記者）つまり、10月の段階で市としての案は示されるという理解でよろしいですか。

（市長）はい。事業によって熟度は異なりますが、それぞれ方向性は持っています。ただし、案が固まっているわけではなく、関係団体の意見を伺いながら問題意識を共有し、市の考える方向性と関係団体の考えをすり合わせていくことになります。

（記者）見直しの中で、「1年間で7億円の削減」という数字が示されていますが、これは来年度予算で達成可能なのでしょうか。

（市長）現時点では断言できません。財政見通しとしては、1年で7億円を整理できれば望ましいという目安ですが、収入面を含め流動的な部分があり、あくまで目安と考えています。

（記者）行財政改革について、今年中に13項目の方向性を示すとのことですが、その中で議会から特に反発が予想される項目はありますか。

（市長）正直なところ、まだ分かりません。ただし、市民の代表としてご意見をいただいている中では、高齢者バス・タクシー運賃助成事業について、多くのご意見をいただいています。

（記者）エフエム宝塚の件や障害者への医療費助成^{がい}については、市民や議会の反応をど

のように受け止めていますか。

（市長）両事業とも、賛否の意見や「こうした方がよいのでは」という提案など、さまざまなご意見をいただいています。ただし、高齢者バス・タクシー運賃助成事業に比べると、現時点ではそこまで大きな声は上がっていないと感じます。受益者の数が少ないこともあり、声の大きさが必ずしも政策決定に直結するとは限りません。

以上